

うせし金で我慢すると思ふか

忘後国の腕はウナル 今に見ろ 分りず一激はドブの中へ叩き込まれを、
十数名の忘後国は毎日出勤し、ロウ燐きボスター張りト活躍してゐる。 忘後国は
忘後道並に右労働組合の青年部と隊は腕を甘え、て機会を待つてゐる。 忘後道並に
忘後道並に、希望なり、つても急上するを、 尉長、腕と氣をつけり

忘後が争議国はあくまで戦ふ、全従業員即時起て

忘後がか首にならんと会社はすぐ諸君に苛酷な労働条件を強制して来た。 忘後には
特別に長くなつた。 外套は支給しない。 規定事項は永久監視を、 今に以て法行進不
之でも諸君はたまたま、あつたか

起て、日、狂志保法、全従業員の大衆的行動によつて再び我慢せしめ

労社第一五三七號

昭和三年十一月二十一日

警視總監 宮田光雄

内務大臣 望月圭介 殿

社會局長 官 殿

北海道京都大阪神奈川兵庫

各廳府縣長官 殿

目黒自動車株式會社従業員ノ争議ニ関スル件 (第五報一解決)

要旨：被解雇者側ニ於テハ新党準備會等ノ應援ヲ得テ十一月十五日午議社
判原院會ヲ開催氣勢ヲ煽ラントシタルガ全日當廳調停謀ニ於テ
労資代表者會見會社側ヨリ解雇手當全部ニ対シ千五百圓ヲ支給ス